

この課題は家の人と一緒に取り組みましょう。

3ソーイング はじめの一步 ②どのような用具や方法でぬいのだろう

学習した日

上 | 23

3-5

実習

年 組 番 名前

月 日

いろいろなぬい方

★家にある布(布切れ、ハンカチ、手ぬぐい等)を使い、「いろいろなぬい方(なみぬい)」(本返しぬい) (半返しぬい) (かがりぬい)」を練習しましょう。練習の時は、教科書を参考にしたり、家の人に教えてもらったりしましょう。布にチャコペンシルや鉛筆で線を描くとぬいやすいです。

【注意!】教科書についているQRコードを読み込むと、インターネットでコンテンツを見ることが出来ます。利用料金がかかるので、インターネットを使ってよいかについては、家の人と確認してください。

★針の取りあつかいには十分気をつけましょう。

練習の前と後で針が同じ本数になっているか。 ぬう時、人に針を向けられない。

《いろいろな手ぬいの仕方》... () にぬい方の名前を書きましょう。

()	()	()	()
表側 — うら	表側 — うら	表側 — うら	表側 — うら
布 うら側	布 うら側	布 うら側	布 うら側
☆「糸こき」(※なみぬいのかきをするとき)	糸の () 糸の () 糸の ()		
・ぬうときに、布 <small>ぬい</small> がつれたり糸がゆるみすぎたりしないように、糸のひき方に注意をする。 ・布がつれたら、玉どめをする前に指の腹でぬい目をしごく。] ← P22		
→ P23			

1本どり、2本どり
どちらも練習して、
ちがいをくらべてみる
と
いいですね。

《ぬい方のコツ》自分でみつけたコツを書きましょう。

なみぬい

返しぬい (本返しぬい)

かがりぬい

上 | 22

3-6

実習

年 組 番 名前

月 日

ボタンつけにチャレンジ

★家にある布（布切れ、ハンカチ、手ぬぐい等）とボタンを使い、「**ボタンのつけ方**」を練習しましょう。練習の時は、教科書を参考にしたり、家の人に教えてもらったりしましょう。ボタンはいろいろな種類がありますが、家にあるボタンで構いません。

【注意！】教科書にしているQRコードを読み込むと、インターネットでコンテンツを見ることが出来ます。利用料金がかかるので、インターネットを使ってよいかについては、家の人と確認してください。

1. ボタンはどのようなところについているだろうか。身近な布^{ぬの}でできたものを観察して、ボタンの役わりやつけ方、種類について調べよう。

ボタンの役わり

ボタンの種類

() ボタン () ボタン
() ボタン () ボタン

2. ボタンをつけてみよう。

①玉結びをして、布の () から針^{はり}をさし、ボタンの穴に通す。

③ボタンと布の間に糸を3・4回 ()。

②ボタンの穴に () 糸を通す。

④針を布のうらに出して () をする。

すきま 2~3mm

◆できたかな ボタンつけ

①穴に糸を3・4回通している。

②すきまがあいている。

③玉結び、玉どめができている。

④糸を固く巻いている。

〈ボタンつけのコツ〉
自分でみつけたコツを書きましょう。